

NEWS

誰がいつ
決めた

鷺沼駅前再開発

鷺沼駅前再開発の3つの問題点を明らかに

鷺沼再開発を考える会が学習会

鷺沼再開発を考える会は1月15日、アリーナで、学習会「『鷺沼駅前再開発にはカラクリがある——本当のことは住民には知らせない』を開催しました。

学習会は、①鷺沼再開発の問題点・実態を広く地域住民に知らせる、②川崎市と東急・準備組合に住民説明会を開催させるための方法を考える——等を目的として開かれました。

会は、今回の学習会を地域住民が知るべきことを知るための学習会と位置づけ、今後も連続して学習会を開催することにしています。

再開発の3つの問題点

鷺沼考える会は、今回の学習会では鷺沼再開発の3つの問題点——①鷺沼駅前

付近の『盛り土』・崩落の危険、②鷺沼再開発の国・市からの補助金と東急大儲けのカラクリ、③鷺沼再開発による交通渋滞——を明らかにし、この問題を中心に、参加者による質疑応答形式で、鷺沼再開発の問題の理解を深めることにしました。

住民にメリットなし

学習会では、3つの問題点についてそれぞれ報告がおこなわれ、①『盛り土』問題では、「鷺沼駅前付近のボーリングデータが不十分なこと」「公表されたデータだけを見ても、鷺沼駅前付近の線路の擁壁が崩壊する危険があること」が報告され、大地震などの震災が起きたときには、鷺沼駅前に

移転した区役所が震災対策をまともにとれない危険があることが明らかになりました。

②鷺沼駅前再開発で東急・準備組合が大儲けする問題では、「総事業費550億円の内、補助金が121億円に上ること」「区役所・市民館・図書館の鷺沼によって東急は駅前の資産価値を高め、再開発ビルの床を市が購入することによって莫大な利益を得るカラクリが明らかにされました。

③交通渋滞問題では、フレル横のバス通りが、現行の片道1車線の幅がほとんど広がらないまま、片道2車線になり、バスがすれ違う際に、すれすれになり、交通渋滞がいつそうひどくなる危険、市民館を利用する際、車でいくためには市

民館への車の入り口が「左折イン、右折禁止」となるため、菅生・宮崎や有馬・野川地域から来る場合、鷺沼小学校入り口の交差点を経由しなければ利用できず、非常に不便になる問題も指摘されました。

広く住民に訴える

学習会では、野川地域から初めて出席した住民から「交通渋滞の問題など初めて聞いた。もっと町内会な

どにも働きかけて訴えていく必要がある」という意見も出され、鷺沼駅前再開発の問題点をひろく住民に知らせていくことの重要性が強調されました。

投稿歓迎

鷺沼駅前再開発についての意見、思いなどの投稿を歓迎します。

字数は500字程度です。「考える会」事務局の藤田宛（下記）に連絡ください。

090-6034-7686

宮前区選出の市議会議員に公開質問状

鷺沼再開発を考える会は、宮前区選出9人の市議会議員全員に学習会への参加要請と併せて公開質問状（鷺沼再開発の3つの問題点）を出しました。

学習会参加は、浅野文直、織田勝久、添田勝の3議員は返信・連絡なし。

参加は石川建二議員。

不参加は、石田康博、大西いずみ、田村真一郎、矢沢孝雄、山田晴彦の各

議員。

公開質問状に回答したのは、石川、石田、大西、矢沢の各議員。田村、山田両議員は白紙提出・無回答でした。

不参加の織田、浅野、添田3議員は返信・連絡なし。

公開質問状への回答を知りたい方は、上記・藤田宛連絡いただければ回答書を郵送します。